

人権だより

いちかわしりつだいいさんちゅうがっこう
市川市立第三中学校
れいわ ねん がつ にちはつこう
令和7年10月17日発行
(第6号)

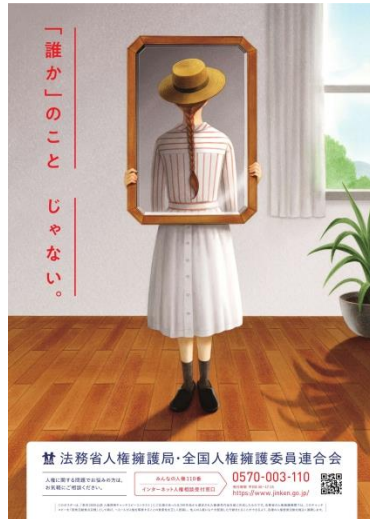
かんが 考えよう あいて 相手の気持ち そだ 育てよう おも 思いやりの心

「『誰か』のこと じゃない」～人権チェックを受けて～

みぎ 右のポスターを見たことはありますか？ ほうむしやう まいとしかくせい 法務省が毎年作成している「啓発活動重点目標・調査救済制度ポスター」です。さんちゅうで は教室棟2階のコンピューター室前に貼ってあります。以下に ホームページに書かれている説明文を抜粋します。

ほうむしやう とうごきかん ときどき しゃかいじやうせい じんけんしんぱん 法務省の人権擁護機関では、その時々^{ときどき}の社会情勢^{しゃかいじやうせい}や人権侵犯^{じんけんしんぱん}事件^{じけん}の動向^{どうかう}を勘案^{かんあん}して、ねんど 年^{ねんど}度^どを通じて^{とおして}特に重点的に啓発^{けいはつ}するテーマ^{てま}を定め、きやうつう 共通^{きやうつう}の目標^{もくひよう}の下^{もと}に組織^{そしき}を挙げ^あげて人権啓発活動^{じんけんけいはつかつどう}を展開^{てんかい}しています。

れいわ ねんど けいはつかつどうじやうてんもくひよう ひ つづ だれ 令和7年度^{れいわ ねんど}の啓発活動重点目標^{けいはつかつどうじやうてんもくひよう}は、引き続き^{ひ つづ}、「『誰か』のこと じゃない。」と定め^{さだ}ました。



趣旨

いじめや虐待^{ぎゃくたい}、体罰^{たいばつ}、性犯罪^{せいはいんざい}・性暴力^{せいぼうりよく}など、こどもが被害者^{ひがいしや}となる事案^{じあん}が後^{あと}を絶ちません。こどもの人権^{じんけん}をめぐる状況^{じやうきやう}は依然^{いぜん}として深刻^{しんこく}です。悩み^{なや}を抱えながらSOS^{かか}を発信^{はつしん}できていないこどもに気付^{きづ}きを促^{うなが}し、その声^{こえ}に耳^{みみ}を傾^{かたむ}け、必要な支援^{ひつよう しえん}を行うことで、社会全体^{しゃかいぜんたい}がその健やかな成長^{すこ}を後押^{あとお}ししていかなければなりません。引き続き^{ひ つづ}、こどもが、権利^{けんり}を持つ一人^{ひとり}の人間^{にんげん}として最大限^{さいだい}尊重^{そんじやう}される社会^{しゃかい}の実現^{じつげん}を目指^めした啓発活動^{けいはつかつどう}にしっかりと取り組みます。

インターネット上^{じやう}の誹謗中傷^{ひぼうちやうしやう}や、差別^{さべつ}を助長^{じやうちやう}するような情報^{じやうほう}の発信^{はつしん}といった問題^{もんだい}の解消^{かいしやう}も、引き続き^{ひ つづ}取り組むべき課題^{かだい}です。(中略)

しゃかいには、さまざま じんけんかだい いぜん そんざい 社会^{しゃかい}には、様々な人権課題^{じんけんかだい}が依然^{いぜん}として存在^{そんざい}していますが、これらは決して、自分^{じぶん}以外の「誰か^{だれ}のこと」^{いしき}、「自分^{じぶん}には関係^{かんけい}のないこと」^{いしき}ではありません。法務省^{ほうむしやう}の人権擁護機関^{じんけんようごきかん}では、本年度^{ほんねんど}も、だれも じんけんもんだい じぶん じぶん みぢか ひと もんだい とら たが じんけん さんちやう たにん じんけんにも配慮^{はいり}した行動^{こうどう}をとることの大切^{たいせつ}さを意識^{いしき}するよう、「『誰か』のこと じゃない。」を啓発活動^{けいはつかつどう}重点目標^{じやうてんもくひよう}に掲^あげ、SNS^{きざう}を含むインターネット^{かんけい}の積極^{せつきよく}的な活用^{かつよう}、企業^{きぎやう}による人権尊重^{じんけんそんじやう}への取組^{とりぐみ}にたい しみん など、う て いしき ないよう ほうほうとも くふう こ かくしめけいはつかつどう はばひろ 対^{たい}する支援^{しえん}など、受け手^うを意^い識^ししながら、内容^{ないよう}・方法^{ほうほう}共に工夫^{くふう}を凝^こらした各種啓発活動^{かくしめけいはつかつどう}を幅広^{はばひろ}く、効果^{こうか}的に展開^{てんかい}します。

法務省ホームページ (<https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken134.html>) より抜粋

さんちやう 三^{さん}中^{ちゅう}では9月^{がつ}から全学級^{ぜんがくきゅう}で人権^{じんけん}チェックをスタートしました。これは日^ひごろ見^み過^すごしがちな皆^{みな}さんにとって身近^{みぢか}かつ、人権^{じんけん}に関^{かん}わる行^{こう}動^{どう}がリス^{りす}トになっ^なっています。毎月^{まいげつ}末^{まつ}行^{おこな}います。このリス^{りす}トが全^{すべ}て〇になるように意^い識^ししてみましょ^う。反^{はん}省^{せい}を以^い下^かに一部^{いちぶ}紹^{しょう}介^{かい}します。合^{がっ}唱^{しょう}コンクールの取^とり組^くみでは仲^な間^{かま}との関^{かん}わりが多^{おほ}くなるので、お互^{たが}い^きが気^き持^もちよく過^すごせると良^よいですね。

・否^ひ定的^{てい}な言^{ごん}葉^がから話^わすことがあ^あった。意^い見^{けん}として言^いったつも^もりでもそ^{とら}う捉^{とら}えられてい^かない可^{かの}能^{のう}性^{せい}を考^{かんが}えて、も^{すこ}う少^{すこ}しやさしいこ^{おも}とばで意^い見^{けん}しよ^{おも}うと思^{おも}う。

・自^じ分^{ぶん}自^じ身^{しん}が言^いわれてうれしくないこ^{ひと}とは人^{ひと}には言^いわな^いいよう^いにした。9月⁹になり、友^{とも}達^{だち}関^{かん}係^{けい}がよ^より深^{ふか}まり、少^{すこ}し気^きがゆるみそ^{ゆる}うにな^いったけ^いど緩^{ゆる}まな^いいよう^いに意^い識^しした。

・楽^{たの}しいこ^いと、嫌^{いや}なこ^いとがあ^ありますが、決^{けつ}して他^た人^{にん}にぶ^ぶつ^つけるこ^ことなく、他^た人^{にん}の人^{じん}権^{けん}も大^{たい}切^{せつ}にす^するこ^ことがで^できた。

・いじりといじめの境^{さかい}目^めって難^{むずか}しい。好^すきなこ^ひとを否^ひ定^{てい}だ^いけ^いは絶^{ぜつ}対^{たい}にしな^いい。
・家^か族^{ぞく}も大^{たい}切^{せつ}にしな^いい。

・な^なにがダ^だメか、な^なにが良^よいか考^{かんが}えて一^{いつ}線^{せん}を超^こえな^いいよう^いに意^い識^しした。
・SNS などは自^じ分^{ぶん}がや^やら^られたこ^{ひと}とがあ^あるので、人^{ひと}にはや^やらな^いいよう^いに気^きを付^つけた。

・人^{ひと}の嫌^{いや}がるこ^ことはし^してい^いないつも^もりだ^だったけ^けど、こ^みれを^みる^ると△が少^{すこ}しあ^あるので、○に^{まる}で^できるよ^ように頑^{がん}張^ばりたいで^です。

・せんせい 先生^{せんせい}にた^{ぐち}め口^{くち}だ^だったり暴^{ぼう}言^{げん}を吐^おいてい^いる人^{おほ}が多^{おほ}い。

・か^から^かか^かったつも^もりな^なのに、相^あ手^てを傷^{きず}つ^つけてしま^{しま}ったと^とかあ^ありそ^そうだ^だか^から気^きを付^つけたい。
・ふ^ふだ^だん^だん^だい^いし^しき 普^ふ段^{だん}意^い識^ししてい^いないこ^ことでも人^{じん}権^{けん}侵^{しん}害^{がい}にな^いってしま^{しま}うと^と感^{かん}じ^じた。

・「親^{した}し^しき仲^{なか}にも礼^{れい}儀^ぎあ^あり」とい^いう言^{ごん}葉^がを意^い識^ししてい^いきたい。
・身^{しん}体^{たい}的^{てき}特^{とく}徴^{てい}はそ^{ひと}の^{ひと}人^{ひと}のせ^{せい}いでは^いないの^のに、言^いってしま^{しま}った。
・声^{こえ}が大^{おほ}きく、う^うるさ^さいと思^{おも}わ^わせてしま^{しま}うこ^ことがあ^あったと思^{おも}う。注^{ちゅう}意^いしあ^あつて滅^めら^らしたい。

・人^{ひと}に嫌^{いや}な思^{おも}い^いをさ^させな^ない。

・ほ^ほか^かの^{ひと}人^{ひと}が嫌^{いや}がるこ^ことを何^{なん}でや^やめな^なかつ^つた^たん^だろ^ろうと思^{おも}った。

・自^じ分^{ぶん}は当^たては^はま^まる^るもの^のはな^なかつ^つた^たが、他^た人^{にん}事^じのよ^ようにと^とら^らえ^えず^ずに、左^{ひだり}のよ^ような行^{こう}為^いが^み見^みら^られた^たら止^とめてい^いきたい。

・6、7、11、12、15 が身^み近^{ぢか}で見^みら^られるか^こら怖^{こわ}い^{かん}と感^{かん}じ^じた。

・悪^{わる}いよ^いうに言^いわ^わな^ないよ^いうに^{わる}した。悪^{わる}口^{ぐち}じゃ^かなく、「～さ^いれて嫌^{いや}だ^だった^たん^だ」の言^いい方^かに^い変^かえ^えるよ^ように意^い識^しした。

・自^じ分^{ぶん}が関^{かん}係^{けい}ないの^まに巻^まき込^こま^まれるの^いが嫌^{いや}だ^だった。

・怒^{いか}りの沸^ふ点^{てん}に到^{たう}達^{たつ}す^つと強^{つよ}い口^{くち}調^{ちやう}にな^{たにん}ってしま^こう^{せい}。他^{たにん}人^{にん}の個^こ性^{せい}な^などはバ^バカに^バしな^しない。

・気^きづ^づいたら言^いってしま^{しま}つて^いいた。発^{はつ}言^{げん}を意^い識^しして生^{せい}活^{かつ}する。

・「キモイ」は言^いいが^いち^ちだと思^{おも}った。

・仲^{なか}の良^あい^い人^{ひと}相^あ手^てだ^だと、お互^{たが}いにバ^バカに^バしあ^あつてい^いるこ^ころが^{ほん}あ^{どう}る^きけ^ずど、本^{ほん}当^{どう}は傷^{きず}つ^ついてい^いるか^かも^もし^しれ^れないか^から気^きを付^つけよ^ようと思^{おも}った。